

AJC-CMS通信 Vol.3

AJC-CMS活用インタビュー

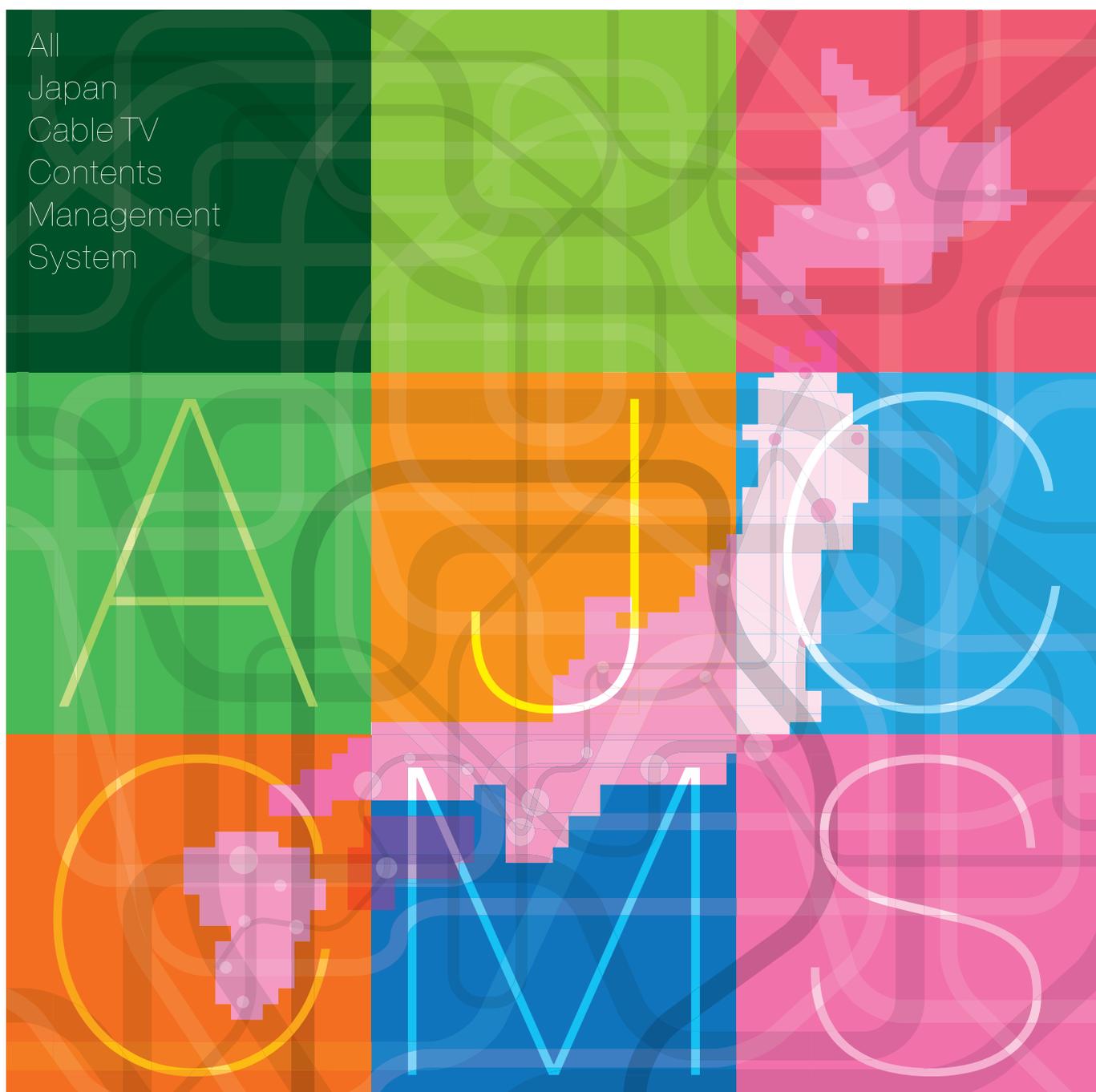
02 — コミュニティネットワークセンター AJC-CMS をコミュニティチャンネル強化事業に活用

SPECIAL TOPIC

04 — B2C ポータル「Next AJC-CMS」始動！

06 — AJC-CMS DATA アンケート結果発表 / AJC-CMS よくある質問&回答集 特別編

08 — AJC-CMS 利用実績 / AJC-CMS 利用料金 / 編集後記



AJC-CMS をベースに コミュニティチャンネル強化事業を進める

中部・東海地域でケーブルテレビ事業を手掛けるMSO、(株)コミュニティネットワークセンター(愛知・名古屋市東区、大石菊弘社長、以下CNCCI)では、2013年4月より、参加ケーブルテレビ局のコミュニティチャンネルを強化する独自の事業を展開。その中でAJC-CMSが活用されているという。その具体的な活用方法などについて話を聞いた。

石川雅章氏 (写真右)

(株)コミュニティネットワークセンター
営業戦略部 メディア事業グループ シニアマネージャー

市橋大輔氏 (左)

(株)コミュニティネットワークセンター
営業戦略部 メディア事業グループ 担当課長



コンテンツ一括購入/販売や 番組共同制作を実施

— CNCCIでのAJC-CMSの活用方法について 教えてください。

石川: 当社では2013年4月より、中部・東海地方のケーブルテレビ局のコミュニティチャンネル強化に寄与することを目的に3つの新たな事業を開始しました。1つが番組流通、1つが共同番組制作、そしてもう1つが広域広告営業です。このうち番組流通と共同番組制作において、AJC-CMSが活用されています。

まず番組流通事業についてですが、14局が参加しており、この中でCNCCIはコンテンツ一括調達および参加局制作コンテンツの他局への販売窓口を担当しています。番組一括購入では14局というスケールメリットを活かした割引交渉を行い、通常より安価なコンテンツ購入を可能としています。毎月参加局に購入可能コンテンツをリストとしてまとめたアグリゲーションシートを提出し、シートにオーダーを記入いただいた上で、オーダーのあったコンテンツを調達する形です。番組購入先はケーブルテレビ局を中心に、地上波局、CSチャンネルなどです。

このうち、ケーブルテレビ局からコンテンツを購入する際には、AJC-CMSを利用してコンテンツを受け取っています。それを検尺した後、参加局にもAJC-CMSを利用してコンテ

ンツを配信します。

参加各局の制作コンテンツを販売する際にもAJC-CMSを利用しています。協議の上で販売価格を決定した番組をAJC-CMS経由で当社がお預かりし、それを当社から再びAJC-CMSにアップロードする形です。すでに購入が決まっている局以外にも広く販売したいと考えていますので、AJC-CMSの機能の1つであるファイル添付機能を使ってセールシートを添付し、全国のケーブルテレビ局向けにも公開しています。AJC-CMSはコンテンツの流通を担う側面と共に、多くのケーブルテレビコンテンツが並ぶ一種のコンテンツショーケース的な側面もあると考えており、そこでコンテンツを広く公開することで、販売に結び付けたいと思っています。

市橋: 共同番組制作事業には現在13局が参加しています。各局ともに独自に番組を制作していますが、どうしても単局ではヒト・モノ・カネが有限であり、大型番組の制作や、コンテンツを増やすことは難しい。そこで参加局の共同出資によって、自局だけでは制作できないような強力な番組を制作することがこの事業の基本理念です。

CNCCIはその中でプロデュースを担当しています。3か月に一度参加局が集まるカンファレンスを実施し、制作番組に対するニーズをヒアリングします。それを元に制作会社と協議し番組を制作していきます。13年度はタレントの大東めぐみをMCに起用し、東海地方のレジャースポットの1つであ



ガーデニングテクニックや季節の花などを解説・紹介する『ようこそ花*花ライフ』

ようこそ
花*花 ライフ
hana * hana life

ガーデニングの手法や、花や庭を紹介する15分番組。ガーデニングのテクニックを初心者向けから上級編まで講師が教えるほか、放送エリア内の自慢の庭紹介や、季節の花の解説なども行う。

コミchの運営方針を明確にすれば AJC-CMSは有用なツールに

—AJC-CMSを新事業に利用してみたの感想をお聞かせください。

石川: そもそもこの事業はAJC-CMSの利用が大前提としてありました。AJC-CMSを利用することで、設備投資のコストやメディア送付等のマンパワーを抑えることにし、当社では編集機や放送機器を一切用意しませんでした。

実際AJC-CMSの大きな特長である「番組伝送にダビングの必要がない」「配送費がかからない」という点は、非常に大きなメリットだと感じました。これがなければ、我々の事業では相当な量のダビングと配送コストが発生してしまいます。AJC-CMSがあったからこそ、この事業を実現できたと言っても過言ではありません。

市橋: ただ、端末認証の1アカウント1端末制限は緩和してほしいですね。もちろんセキュリティ上の必要性は理解しているのですが、社内の端末でないとダウンロード/アップロードの確認や操作ができない点には不便さを感じています。メディア事業は現在2人のスタッフで運営しています。このため、出張時や休日などにAJC-CMSの作業が必要になった場合は困ることが多いです。

石川: AJC-CMSを活用するためには、改めてケーブルテレビのコミュニティチャンネルの運営方針を考える必要があると思います。編成コンセプトをしっかりと考え、そこにどんなコンテンツが足りていて、何が足りていないのかを理解し、その上で自分たちが売れるコンテンツ、買うべきコンテンツを整理することができれば、AJC-CMSは非常に有用なツールとなると思います。“地域密着”がコミュニティチャンネルの強みだといっても、地域を取材した番組を放送することだけが“地域密着”とは限りません。地域住民の生活圏とケーブルテレビのサービスエリアは必ずしも一致していませんので、もしかしたらサービスエリア外の情報に対するニーズも高いかもしれない。そうしたニーズもしっかりリサーチした上で、コミュニティチャンネルの在り方を今一度考えていくべきではないでしょうか。

るナガシマリゾートやその近郊の観光情報を紹介する30分番組を毎月1本制作してきました。

この中でAJC-CMSを、番組完パケや番宣素材の各局への配信に使用しています。また番組の中で使う資料映像の素材を参加局がすでに持っているような場合は、素材をAJC-CMSで送っていただいて、メディア化して制作会社に渡す、といった使い方もしています。

番組調達数は右肩上がり 新番組制作も決定

—番組流通事業、共同番組制作事業の進捗状況や今後の展開がありましたら教えてください。

石川: 番組調達では、開始直後の13年4月は1カ月間で46本の調達でしたが、今年の1月には69本にまで拡大しました。年末年始は特番も調達しているので多少前後はありますが、ほぼ右肩上がりです。調達数は増えています。

販売に関しては、ケーブルテレビ局のコンテンツ流通はこれまで番組交換や無料提供が中心だったことから、まだコンテンツにコストをかけるという意識が醸成されておらず、実績は少ない状況です。ただそうした中でも、地域外の方々にも見ていただくことを意識して制作された番組は販売に繋がっていますね。

市橋: 共同制作番組は放送を重ねるにつれ固定ファンもつき、番組への視聴者感想が毎月約200件、番組内で紹介したプレゼントへの応募総数が累計4,200件と、レスポンスもかなり高いものとなっています。

ただこの番組は今年3月にいったん終了し、4月からは新たな番組を2本制作・放送していきます。1つは未就学児向けの動物番組『いきものてれび』、もう1つはガーデニングをテーマにしたHow to番組『ようこそ花*花ライフ』です。新番組にはスポンサーも1社決定しており、広告や販売で得られた資金を番組に投資することで、共同制作番組をもう1番組増やしたいと考えています。

ケーブルテレビの番組を、全国へ、世界へ！ B2Cポータル「Next AJC-CMS」、始動！

2012年10月の本格稼働以降、ケーブルテレビ局間のコンテンツ流通の一翼を担っているAJC-CMS。この仕組みをさらに一歩進め、B2Cでコンテンツを配信する取り組みが動き出した。それが「Next AJC-CMS（開発名称）」だ。ここではNext AJC-CMSの狙いや、サービス開始当初に提供される機能などについて紹介する。

ケーブルテレビの番組で 地域に人を“呼び込む”

Next AJC-CMSは、B2C向けに提供される、地域コンテンツのポータルサイト。全国のケーブルテレビ局のコンテンツを集約し、コンシューマーの誰もが見られる形で配信する。ケーブルテレビ局はAJC-CMSから、簡単にNext AJC-CMSにコンテンツをアップロードすることが可能だ。

提供開始は今年4月中を予定。当初はタブレット端末向けにサービスを提供し、その後スマートフォンやPCなどへ利用端末を拡大していく。

Next AJC-CMS最大の狙いは、ケーブルテレビ局の持つコンテンツを“呼び込みコンテンツ”として活用することだ。AJC-CMSの開発に携わる久保田精一氏（日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ特別委員会 AJC-CMS主査/（株）ジュピターテレコム）は「従来のケーブルテレビの行うVODは、自局エリア内のお客様に視聴してもらうための“囲い込みコンテンツ”でした。しかしエリア外の方々にもオープンに見ていただくことで、自局エリアに旅行や買い物に来てもらうなど、地域の活性化につなげることもできます。そうした“呼び込みコンテンツ”としてケーブルテレビ局の資産を活用することが、Next AJC-CMSの大きな目的の1つです」と語る。将来的には簡易翻訳機能を搭載し、海外からの視聴も可能とする予定。海外観光客の誘致や海外への番組販売も視野に入れているという。



久保田精一氏（日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ特別委員会 AJC-CMS主査/（株）ジュピターテレコム）

動画は1.5Mbpsで提供 会員向け機能も用意

Next AJC-CMSトップページには、大きく「特集」「新着番組」「ジャンル別番組」の3項目が並ぶ。「特集」はトップページ最上段に表示される、最も訴求力の強い部分。各種特集に合



Next AJC-CMSトップページ



動画視聴等ができる番組詳細ページ

わせてチョイスされた番組が次々とスクロール表示される。「新着番組」には最近更新された番組が並ぶ。「ジャンル別番組」には「地域ニュース」「情報ワイドショー」「ドキュメンタリー」「趣味・教育」「スポーツ」等の各ジャンルのラインナップを予定している。

各コンテンツを選択すると番組詳細ページに移動。番組詳細ページでは番組動画の視聴、番組紹介記事の閲覧などが可能だ。動画は1.5Mbpsの画質で提供され、フルスクリーンでも視聴にも耐える。

動画の下には、番組のシーン画像を次々と表示するスライドショーも用意。動画視聴前にどんな内容なのかを大まかに把握する際に便利だ。また番組がシリーズ作品の場合にはシリーズエピソードも表示される。

ケーブルテレビコンテンツの次の世界を模索する「コンテンツ・トップセミナー」を開催

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟(東京・中央区、西條温理事長、以下JCTA)は1月31日、時事通信ホール(東京・中央区)にて「コンテンツ・トップセミナー」を開催した。

同セミナーは、ケーブルテレビのコンテンツに焦点を当てた初のトップセミナー。まず開会挨拶や来賓挨拶に続き、総務省 情報流通行政局 衛星・地域放送課長の鈴木信也氏と、同コンテンツ振興課長の湯本博信氏が「放送サービスの高度化について4K/8K、ケーブル・プラットフォーム等の推進/放送コンテンツの海外展開」をテーマに講演。続いてJCTAコンテンツ特別委員会 AJC-CMS 主査の久保田精一氏が、AJC-CMS

セミナー会場ロビーでは4K制作機器や4Kテレビなどを展示。「Next AJC-CMS」のデモ(写真)も行われ、多くの来場者が実際にNext AJC-CMS(テスト版)を体験していた



の利用状況や、Next AJC-CMSのB2Cサイトの機能などについて説明した。

またケーブルコンテンツの海外展開についての講演とパネルディスカッションも実施。重村一氏((株)ニッポン放送 代表取締役会長/放送コンテンツ海外展開促進機構(BEJ)理事)、内山隆氏(青山学院大学 総合文化政策学部 教授)、城田信義氏((株)ジャパンエフエムネッ

トワーク)、長谷川朋子氏((株)放送ジャーナル社)、丸山康熙氏(須高ケーブルテレビ(株)代表取締役社長)が登場し、国際コンテンツ見本市「MIP」に参加したJCTAの活動や、ケーブルテレビ局の海外テレビ局との番組共同製作事例などについて意見交換が行われた。その他ケーブルテレビ局による試作4Kコンテンツ上映なども行われ、セミナーは盛況のうちに幕を閉じた。

さらにNext AJC-CMSにログイン(無料会員登録が必要)することで、番組にタグを付けたり、レビューを書いたり、お気に入り登録をしたりすることが可能。お気に入りに登録した番組は、会員ごとの個別ページ「マイページ」に一覧表示されるようになる。その他TwitterやFacebookといったSNSへの共有ボタンも用意される予定だ。

番組詳細ページ等に表示されるケーブルテレビ局名を選択すると、そのケーブルテレビ局の作品一覧を表示。ページ上部には資料請求や新規申し込み等のリンクを表示するなど、各局への加入導線も設けている。



こだわりの日本地図による番組検索

検索にこだわりコンテンツを地図から探す

番組検索機能はとても特徴的だ。通常のワード検索やジャンル検索のほか、全国のケーブルテレビ局の番組を扱うNext AJC-CMSらしく、地図から番組を検索する機能も搭載。サイト上部の「地図から探す」を選ぶと日本地図が表示され、その日本地図の各地域をタップすることで、その地域の番組が一覧表示される仕組みだ。旅行に行く際に、その地域の情報を動画で観たい時などに非常に便利だ。

課金機能や広告も提供予定

Next AJC-CMSでは、今後、コンテンツごとや定額制の課金機能の搭載や、クリック報酬型広告、各局の企画と連携した広告などの提供を行い、持続可能な収益モデルの構築を目指す。さらにコンテンツ視聴ランキングを設置するなど、制作者のモチベーションに繋がる取り組みも行なっていく。「全国のケーブルテレビ局のコンテンツを視聴できる場を設けることで、業界独自のコンテンツ力や地域力を、全国、そして世界にもアピールできれば。そのために多くのケーブルテレビ局にNext AJC-CMSにコンテンツを提供してほしいですね」と久保田氏。Next AJC-CMSがケーブルテレビ局のコンテンツを広く発信していく。

より使いやすいシステムを目指して AJC-CMSアンケートを実施

日本ケーブルテレビ連盟では、AJC-CMSの改良や今後のバージョンアップの参考とするために、2014年1月下旬、ケーブルテレビ各局を対象にAJC-CMSに関するアンケートを実施した。ここではその集計結果の一部を紹介する。

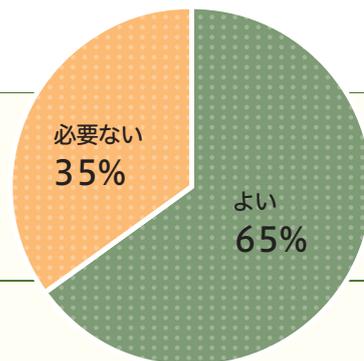
アンケート実施期間:2014年1月14日～21日

対象:ケーブルテレビ事業者304社+MSO3社(自治体、AJC-CMS未利用事業者含む)

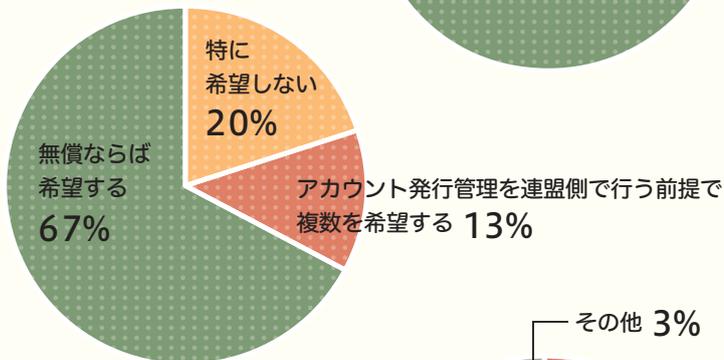
有効回答数:145局

※全ての質問に対し複数回答可

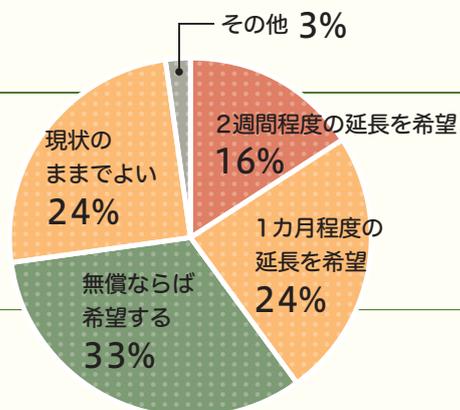
Q1 コンテンツ登録メールや完パケ配信メールについて
受信許可/非許可を選択できるとよいですか？



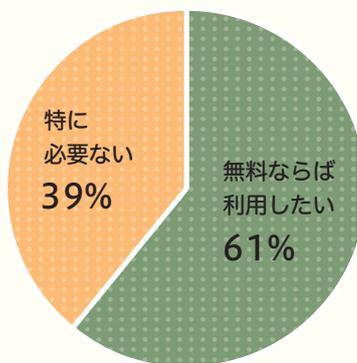
Q2 現在セキュリティの都合で
1アカウントにつき1端末の
利用台数制限を設けていますが、
1アカウントでの複数端末利用を
希望しますか？



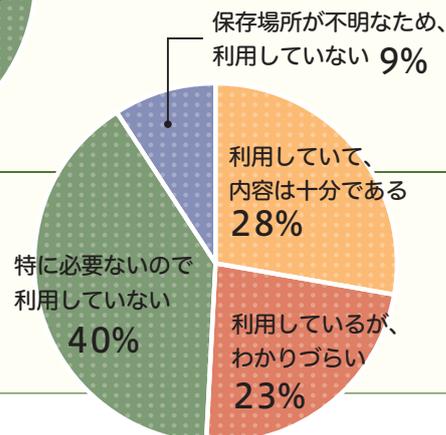
Q3 完パケ受け渡し用保存期間の延長を希望しますか？



Q4 現在の完パケ受け渡しのための
保存期間を大きく上回る
長期保存を希望しますか？



Q5 AJC-CMSのマニュアルを利用していますか？



今回はアンケートで頂戴したAJC-CMSに関するご質問やご要望に対する回答をお届けします。

完パケの保存期間が短い

Q 完パケの保存期間が短く、再アップロードの依頼が多いと大変です。1カ月間程度に延長できませんか。

A 保存期間を4週間に変更します。

保存期間延長のご要望が多いことから、4月より保存期間を4週間に変更する予定です。ただし、全ての保存期間を最長に設定すると保存容量が大幅に増加してしまうため、不要な期間延長を避けるよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

案内メールが多すぎる

Q 特別番組など単発番組の配信案内はありがたいですが、全てのアカウントに案内メールが配信されるので、閲覧のみの利用者にはメールが多すぎると感じています。

A お知らせメールが配信されない閲覧専用登録を検討します。

アカウントを作成する際に、お知らせメールが配信されない閲覧専用の登録が可能となるよう変更を検討します。実施日途は5月以降になります。

ログインを簡略化してほしい

Q ログイン作業を簡略化してほしいです。以前はIDやパスワードが保存されていたのですが……。

A ID・パスワードを保存できるよう対応します。

今回のアンケートでご希望が多かった点ですので、ID・パスワードの保存を行うように対応します。セキュリティ対策も含めてシステムの改修を必要としますので、実装日途は5月以降となります。

端末の利用制限を緩和してほしい

Q 端末の利用制限について、番組のアップロードやダウンロードに関しては1端末のみでも問題ないと思いますが、コンテンツの案内ページは複数の端末で閲覧できるようにならないでしょうか。

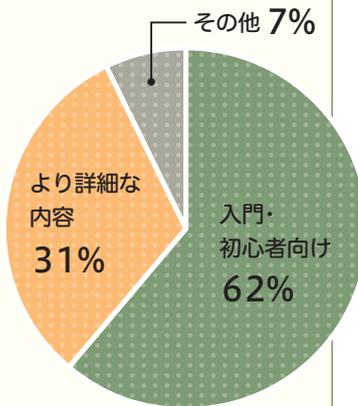
A 2台目の端末まで利用を検討します。

コンテンツ保護の観点での措置としてご理解をいただきたいのですが、利便性が損なわれている状況も鑑みて、2台目の端末までの利用について検討をいたします。年度内(3月末)に判断し、実施する場合には、4月を目標といたします。

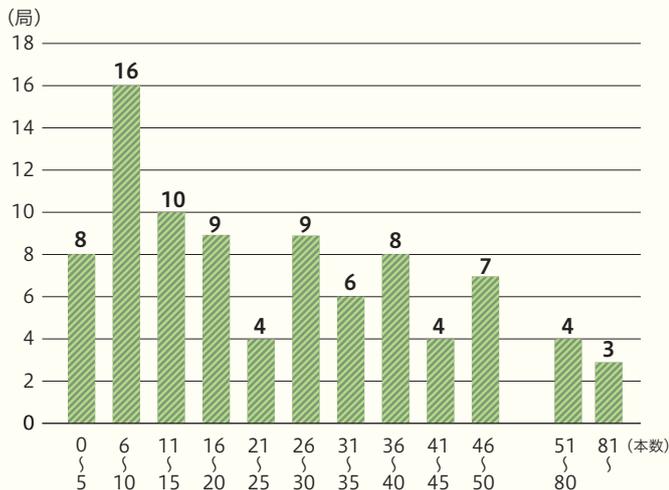
下記のサポートサイトにてAJC-CMSの疑問に関して詳しくご案内しています。

<https://www.ajc-cms.jp/helpdesk/>

Q6 マニュアルを改訂する場合、どのような内容の整備を求めますか？

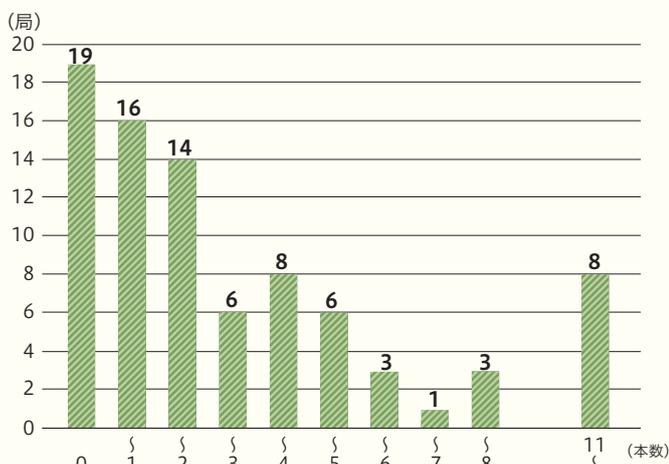


Q7 毎月の平均的な番組制作数を教えてください



※AJC-CMS 利用局のみで集計

Q8 毎月の平均的な他社への番組配信数を教えてください



※AJC-CMS 利用局のみで集計

AJC-CMSの利用実績



2012年10月から14年2月末現在で、利用局数は約170局から309局に増加
アップロードを行う局の数も2倍近くになり、毎月1,000近くのコンテンツがアップロードされている

AJC-CMS利用料金表

オペレータ※1	月額	年額
正会員オペレータ(本部会員を対象とします)	8,000円(税抜)	96,000円(税抜)
非会員オペレータ	10,000円(税抜)	120,000円(税抜)
お知らせ受信限定会員※2	無償	

※1:お申し込みは、局(利用規約に定義)単位とします

※2:お知らせ受信限定会員は、連盟の認める一部コンテンツ、およびサプライヤーの提供する番組宣伝コンテンツ等のダウンロードの利用に限定されます

サプライヤー※3	月額	年額
正会員サプライヤー	100,000円(税抜)	1,200,000円(税抜)
正会員サプライヤー(ライトコース)※4	20,000円(税抜)	240,000円(税抜)

※3:お申し込みは、チャンネル単位(利用規約に定義)とします

※4:ライトコースは月間HD番組10時間までのアップロード制限での利用とします

〈お申し込みに関するお問い合わせ先〉

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ・ラボ事務局

Eメール: jcta_contents-lab@catv.or.jp TEL:03-3566-8200 FAX:03-3566-8201

編集後記



CNCI 14局がケーブルテレビ局などから、通常より安価なコンテンツを一括購入するとともに、グループ内の制作番組をAJC-CMSで配信、コミチャン編成を充実させる努力をしているようですね。今後はケーブルテレビ各局の有料コンテンツのアップロードが増え、売り買いが盛んになることを期待したいものです。(小林)



今回のアンケートでは、未利用局を含む多くの局から回答をいただくことができました。皆様の要望を最大限反映して開発後、費用を最小限に抑えながら運用してきました。今回、ご要望を最大公約数的にお応えすることで、少しでも利用しやすい環境を整えていけるよう対応していきたいと思っています。(糸田)